

第3章 計画の推進に向けて

第1節 中間評価における主な課題と今後の方向性

◎主な課題

※『◎』主に関係する世代、『○』関係する世代

柱	分野	主な課題	関係する世代				
			① めばえ	② わかば	③ のびる	④ むすぶ	⑤ みえる
Ⅰ	1 栄養・食生活	低出生体重児の増加がみられていることから、妊婦や女性の適正体重の維持のための取組が必要です。	◎	○	○	○	
		肥満者の増加がみられていることから、循環器系疾患予防のための生活習慣病予防への取組が必要です。	○	◎	◎	◎	○
		朝食摂取は生活習慣病との関連も深いため、幼児期からの朝食摂取の必要性の普及啓発や、肥満、痩せ、低栄養予防と関連付けた取組が必要です。	○	◎	◎	◎	◎
	2 身体活動・運動	からだを動かす習慣はわずかな上昇しかみられず、生活習慣病予防のための運動習慣の定着や、介護予防のための筋力向上に向けた取組が必要です。	○	◎	◎	◎	○
		ロコモティブシンドロームの認知度が低く、ロコモティブシンドロームの知識や予防方法の普及啓発が必要です。				◎	○
	3 の健康と□	歯肉炎を有する者の増加がみられ、口腔機能を維持するための取組が必要です。	○	○	◎	◎	○
	4 たばこ・アルコール	女性の喫煙率の増加がみられ、低出生体重児の発生予防、生活習慣病予防についての取組が必要です。また、喫煙とCOPDの関係や受動喫煙の害に関する取組が必要です。	◎	○	○	◎	○
		多量飲酒をする者の増加がみられ、生活習慣病予防や低栄養予防についての取組が必要です。				◎	◎

柱	分野	主な課題	関係する世代				
			(1) めばえ	(2) わかば	(3) のびる	(4) むすぶ	(5) みる
Ⅰ 生活習慣の改善	5 休養・こころの健康づくり	地域との交流がある者や睡眠による休養がとれている者の割合が世代によってばらつきがあり、それぞれの世代に応じたこころの健康づくりへの取組が必要です。	○	○	○	◎	○
		自殺の標準化死亡比が上がっていること、また気分障害による医療費は上位をしめており、自殺の予防的な取組の強化が必要です。	◎	◎	◎	◎	◎
	6 子どもの健康	虐待をしていると思う親の割合は増えており、育児困難感をもつ保護者が増えていると考えられるため、妊娠中からの切れ目のない個々の状況に応じた取組が必要です。	◎	○	○		
		地域のお母さんと交流がある母親の割合は減少しており、対象者のニーズに応じた取組が必要です。	◎				
		予防接種や子育て制度が多様化しているため、適切な時期に情報をやりとりできる環境整備が必要です。	◎	○			
Ⅱ 健康管理	【二次予防】	糖尿病・循環器				◎	
		がん				◎	◎
	【三次予防】	こころの健康				◎	◎
		糖尿病				◎	◎
Ⅲ 食育推進	食育推進	若い世代の食育への関心の低下や食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている市民の割合は悪化しており、食育への関心を高める取組が必要です。	◎	◎	◎	◎	◎

◎ 今後の方向性

※『◎』主に関係する世代、『○』関係する世代

柱	今後の方向性	関係する世代					関連分野
		(1) めばえ	(2) わかば	(3) のびる	(4) むすぶ	(5) みのる	
Ⅰ 生活習慣の改善	生活習慣病予防や低栄養予防のために朝食の必要性やバランスのとれた食生活を推進します。 - 子育て世代包括支援センターや電子母子手帳の導入による切れ目のない支援 - 自分の食事傾向がわかる web アプリ「食生活ナビ」など客観的なデータを活用した食生活の見直しや改善に向けた支援	◎	◎	◎	◎	◎	栄養・食生活 健康管理 (糖尿病・循環器疾患)
	生活習慣病予防や介護予防のために、運動習慣の定着と筋力向上の取組を推進します。 - 運動能力にあわせた取組やすい事業の工夫や環境づくり - 働く世代への運動習慣定着に向けた職域との連携 - 健康づくりと介護予防の一体的な実施の検討	○	○	○	◎	◎	身体活動・運動 健康管理 (糖尿病・循環器疾患)
	虫歯予防とともに歯肉炎、歯周病予防について若い世代からの普及啓発に取組ます。また、介護予防のための口腔機能の維持を推進します。 - 学校保健と情報共有しながら歯肉炎や歯周病予防の必要性についての普及啓発 - 口腔機能に関する知識の普及啓発	○	◎	◎	◎	◎	栄養・食生活 歯と口の健康
	生活習慣病予防、低栄養予防やCOPD予防のために、禁煙対策や適正飲酒に関する取組を推進します。 - 子育て世代包括支援センターや電子母子手帳の活用による妊娠中からの子育て期への禁煙対策、適正飲酒に関する情報提供 - 適正飲酒に関する知識の普及啓発 - COPD予防に関する知識の普及啓発 - 受動喫煙に関する知識の普及啓発	◎	○	○	◎	◎	栄養・食生活 たばこ・アルコール 子どもの健康
	睡眠による休養や地域との交流によるこころの健康づくりに関する取組を推進します。 - 地域との交流がとりやすい環境づくり - 互いに声を掛け合える地域づくり - 睡眠不足が及ぼす影響や質の良い睡眠確保の工夫に関する普及啓発 <u>過度のストレスや孤立によるこころの健康状態悪化からの自殺を予防するために「自殺予防の取組」の強化</u>	○	○	◎	◎	◎	休養・こころの健康づくり 自殺予防

柱	今後の方向性	関係する世代					関連分野
		(1)めばえ	(2)わかば	(3)のびる	(4)むすぶ	(5)みのる	
I 生活習慣の改善	子どもの健やかな育ちのために保護者も含めた子育て支援を推進します。 - 子育て世代包括支援センター設置による切れ目のない支援、電子母子手帳を活用した情報提供 - 産後うつ予防や虐待予防を視野に入れた産婦への支援の強化	◎	○	○			子どもの健康
II 健康管理	生活習慣病やがんについて、早期発見や早期治療のための取組を推進します。 - 対象者の選定、勧奨内容、勧奨方法を工夫した受診勧奨、保健指導の実施 - 他の保険者との連携による受診しやすい環境づくりの推進 - 非メタボリックシンドローム者への生活習慣病予防対策の実施				◎	◎	健康管理 (糖尿病・循環器・がん)
	糖尿病重症化予防のための取組を推進します。 - 医療機関と連携しながら透析移行予防のための個別支援の実施 - 慢性腎臓病ハイリスク者への個別支援の実施				◎		健康管理 (糖尿病・循環器)
	認知症の早期発見・早期対応への取組を推進します。 こころの健康づくり対策として、関係部署や関係機関と連携しながら、安心して生活できる地域づくりを推進				◎	◎	休養・こころの健康づくり
III 食育推進	食育への関心を高める効果的な取組を推進します。 庁内関係課や地域、企業等と連携した食に関する知識と実践の普及啓発	◎	◎	◎	◎	◎	栄養・食生活

※『◎』主に関係する世代、『○』関係する世代

◎新たな取組

IV 自殺予防	世代ごとの課題に沿った取組を推進します。 「うつ病」等の精神疾患への正しい理解の普及啓発 - 相談先や受診先、周囲の人の関わり方（傾聴の姿勢等）に関する普及啓発 - 関係機関や地域との連携の強化、庁内関係課における横のつながりの強化による見守り支援が行える体制づくりの推進	◎	◎	◎	◎	◎	休養・こころの健康づくり 子どもの健康 たばこ・アルコール
------------	---	---	---	---	---	---	--

※『◎』主に関係する世代、『○』関係する世代

第2節 第2期計画中間評価後の指標一覧

※太枠、網掛け、太字…中間評価にて変更、追加した箇所

柱	分野	(1) めばえ	(2) わかば	(3) のびる	(4) むすぶ	(5) みる	指標	策定時 H24	中間評価時 H29	目標 H35
I 生活習慣の改善	1 栄養・食生活	0 ～ 5 歳親子					低体重児の出生割合	6.1%	10.4%	減少
							家族と向き合って食べる児の割合(3歳児)	82.5%	82.0%	増加
							出産後3か月児の母乳育児児の割合	50.0%	54.2%	増加
			6 ～ 12 歳学童期				主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上ある児の割合	中間評価にて把握	59.3%	80%
							朝食または夕食を家族と一緒に食べる児の割合	中間評価にて把握	朝食92.1% 夕食100%	増加
							よく噛んで味わって食べる等、食べ方に関心のある者の割合	中間評価にて把握	50.9%	80%
							適正体重を維持している児の割合(小学5年生)	87.3%	87.8%	増加
							朝食を毎日食べる児の割合	87.1%	84.2%	100%
				13 ～ 18 歳思春期			主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上ある者の割合	中間評価にて把握	47.7%	80%
							朝食または夕食を家族と一緒に食べる者の割合	中間評価にて把握	朝食68.9% 夕食96.2%	増加
							よく噛んで味わって食べる等、食べ方に関心のある者の割合	中間評価にて把握	53.1%	80%
							適正体重を維持している者の割合(中学2年生)	86.7%	89.7%	増加
							朝食を毎日食べる者の割合(中学生)	76.7%	74.9%	100%
					19 ～ 74 歳若壮年・中高年期		主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上ある者の割合	中間評価にて把握	42.3%	50%
							朝食または夕食を家族と一緒に食べる者の割合	中間評価にて把握	69.2%	増加
							よく噛んで味わって食べる等、食べ方に関心のある者の割合	25.2%	22.1%	30%
							40～64歳肥満者割合	【男性】 47.1% 【女性】 24.8%	51.1% 26.4%	28% 19%
							朝食を毎日食べる者の割合	95.8%	94.8%	100%
							栄養成分表示の「エネルギー表示」を参考にする者の割合	中間評価にて把握	46.0%	60%
							食塩摂取量が減少した者	91.1%	97.0%	維持
					75 歳以上		主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上ある者の割合	中間評価にて把握	66.1%	75%
							よく噛んで味わって食べる等、食べ方に関心のある者の割合	中間評価にて把握	33.2%	40%
							朝食を毎日食べる者の割合	97.6%	96.8%	100%
							低栄養傾向の者の割合 (BMI20以下の高齢者)	【男性】 20.6% 【女性】 24.2%	16.6% 25.0%	22%以下 22%以下

柱	分野	(1) めばえ	(2) わかば	(3) のびる	(4) むすぶ	(5) みのる	指標	策定時 H24	中間評価時 H29	目標 H35
I 生活習慣の改善	2 身体活動・運動	0～5歳					1日30分程度の外遊びを毎日している児の割合(3歳児)	中間評価にて把握	76.5%	増加
			6～12歳				週に3回以上運動やスポーツを習慣的にしている児の割合	中間評価にて把握	66.7%	増加
				13～18歳			運動やスポーツを習慣的にしている者の割合	中間評価にて把握	71.8%	増加
							1日30分以上、週2日以上運動をしている者の割合(40～70歳)	35.5%	37.4%	52%
						19～74歳	身体活動を1日1時間以上実施している者の割合(40～74歳)	42.9%	46.0%	52%
							ロコモティブシンドロームを認知している者の割合	9.8%	16.7%	35%
						75歳以上	身体活動を1日1時間以上実施している者の割合	中間評価にて把握	70.5%	増加
							週1回以上外出している者の割合	【男性】 86.1%	91.2%	増加
								【女性】 78.2%	94.1%	増加
	3 歯と口の健康	0～5歳					妊婦歯科健診受診率	—	16.5%	増加
							1歳6か月児のむし歯有病率	0.9%	0.8%	減少
							3歳児のむし歯有病率	17.5%	12.3%	減少
			6～12歳				未処置歯ゼロの児童の割合(小学5年生)	48.4%	46.0%	増加
				13～18歳			一人平均むし歯数が1.0歯未満の者の割合(12歳児)	48.6%	54.8%	増加
							歯肉炎を有する者の割合(12歳児)	21.0%	33.0%	減少
							定期的な歯科検診受診者の割合	30.9%	35.2%	50%以上
						19～74歳	進行した歯肉炎のある者の割合	7.8% (40～70歳)	15.9%	減少
							40歳で喪失歯ゼロの者の割合(40～49歳)	【男性】 67.5%	61.3%	75%
								【女性】 71.6%	69.6%	75%
							6024の達成者の割合(55～64歳)	66.0%	77.2%	85%以上
						75歳以上	口腔機能を維持している者の割合(食べ物を食べるときに特に気にならない者)	—	45.6%	増加
	4 たばこ・アルコール	0～5歳					喫煙しない妊婦の割合	93.4%	95.0%	100%
							妊婦のパートナーの喫煙率	35.7%	31.4%	減少
				13～18歳			喫煙が身体に及ぼす害についての知識を持つ者の割合	中間評価にて把握	91.9%	100%
							妊婦の喫煙者の割合	6.6%	5.0%	0%
						19～74歳	喫煙率	全体 19.6%	19.6%	12%
								参考: 男性 34.9%	33.1%	
								参考: 女性 6.9%	8.1%	
							COPDを認知している者の割合	8.8%	17.1%	80%
							多量に飲酒する者の割合	【男性】 10.4%	19.1%	13%
								【女性】 1.5%	11.6%	6.4%
						75歳以上	喫煙率	全体 5.4%	4.6%	減少
								参考: 男性 10.1%	9.8%	
								参考: 女性 1.1%	0.4%	
							COPDを認知している者の割合	中間評価にて把握	11.4%	80%
							多量に飲酒する者の割合	【男性】 0.2%	15.7%	減少
								【女性】 0.0%	3.5%	減少

柱	分野	(1) めばえ	(2) わかば	(3) のびる	(4) むすぶ	(5) みる	指標	策定時 H24	中間評価時 H29	目標 H35
I 生活習慣の改善	5 休養・こころの健康づくり	0～5歳					児童虐待件数(新規登録件数)	44件 (0～18歳)	38件 (0～18歳)	減少
			6歳				児童虐待件数(新規登録件数)	44件 (0～18歳)	38件 (0～18歳)	減少
			12歳				不登校児童の割合	0.28%	0.23%	減少
							相談相手がいる児の割合	中間評価にて把握	94.9%	100%
							地域の人と交流がある児の割合	中間評価にて把握	92.1%	100%
				13歳			児童虐待件数(新規登録件数)	44件 (0～18歳)	38件 (0～18歳)	減少
				18歳			不登校生徒の割合	3.01%	1.52%	減少
							ストレスを感じたことのある者の割合	中間評価にて把握	13.9%	10%
							相談相手がいる者の割合	中間評価にて把握	93.8%	95%以上
							地域の人と交流がある者の割合	中間評価にて把握	79.9%	85%
							睡眠による休養を十分にとれていない者の割合	中間評価にて把握	14.4%	減少
					19歳		ストレスを感じたことのある者の割合	17.8%	20.6%	15%
					74歳		相談相手がいる者の割合	90.5%	91.3%	95%以上
							睡眠による休養を十分にとれていない者の割合	中間評価にて把握	25.5%	減少
							地域の集まりに参加している者の割合	中間評価にて把握	50.8%	65%
					75歳以上		相談相手がいる者の割合	中間評価にて把握	94.5%	95%以上
							睡眠による休養を十分にとれていない者の割合	中間評価にて把握	9.4%	減少
							地域の集まりに参加している者の割合	中間評価にて把握	68.5%	80%
	6 子どもの健康	0～5歳					妊娠11週以下で妊娠届を出す妊婦の割合	89.3%	87.4%	100%
							出生後3か月児の母乳育児の割合	56.9%	54.2%	増加
							子育てに自信が持てない母親の割合	8.8%	8.9%	減少
							子育てが楽しいと思える母親の割合	96.0%	93.6%	増加
							虐待していると思う母親の割合	1.0%	5.2%	減少
							地域のお母さんと交流がある母親の割合	52.9%	44.0%	増加
							家事・育児に協力的な父親の割合	93.0%	93.9%	100%
							育てにくさを感じたときに対処できる親の割合	-	82.0% (H28)	95%
							#8000番を知っている親の割合	57.1%	91.1%	100%
							児童虐待件数(新規登録件数)	44件 (0～18歳)	38件 (0～18歳)	減少
							1歳までにBCGが終了している児の割合	89.2%	88.7%	95%
							麻疹・風しんの予防接種(第1期)を終了している児の割合	89.9%	95.6%	95%以上維持
							麻疹・風しんの予防接種(第2期)を終了している児の割合	-	93.2%	95%以上維持
			6歳				児童虐待件数(新規登録件数)	44件 (0～18歳)	38件 (0～18歳)	減少
			12歳				不登校児童の割合	0.28%	0.2%	減少
				13歳			児童虐待件数(新規登録件数)	44件 (0～18歳)	38件 (0～18歳)	減少
				18歳			不登校生徒の割合	3.01%	1.5%	減少

柱	分野	(1)めばえ	(2)わかば	(3)のびる	(4)むすぶ	(5)みのる	指標	策定時 H24	中間評価時 H29	目標 H35
Ⅱ 健康管理	各種健診	0～5歳					乳児健診受診率	98.3%	97.1%	95%以上維持
							1歳6か月児健診受診率	95.9%	97.0%	95%以上維持
							3歳児健診受診率	97.8%	95.9%	95%以上維持
	子ども健康		6～12歳				健康診断精検率	中間評価にて把握	96.4%	100%
				13～18歳			健康診断精検率	中間評価にて把握	85.3%	100%
	歯						定期的な歯科検診を受ける者の割合	30.9%	35.2%	65%
	休養						気分障害(躁うつ病を含む)の有病者	中間評価にて把握	5.6%	減少
	糖尿病						特定健診受診率	20.3%	26.7%	40%
							特定保健指導実施率	7.7%	6.2%	40%
							メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の割合	24.8%	27.5%	減少
							糖尿病有病者の割合	4.7%	14.9%	減少
							糖尿病治療継続者の割合	中間評価にて把握	58.2%	増加
	循環器					19歳	特定健診受診率	20.3%	26.7%	40%
						74歳	特定保健指導実施率	7.7%	6.2%	40%
							血圧有病者の割合	10.9%	27.8%	減少
							血圧治療継続者の割合	中間評価にて把握	87.7%	増加
	がん						胃がん検診受診率	9.8%	5.0%	10.0%
							肺がん検診受診率	33.2%	14.0%	30.0%
							大腸がん検診受診率	15.7%	7.6%	20.0%
							乳がん検診受診率	11.3%	8.4%	20.0%
							子宮頸部がん検診受診率	11.7%	8.9%	20.0%
							がん精密検査受診率	84.5%	72.8%	90%以上
	身体活動					75歳以上	運動機能低下者の割合	【男性】 26.7%	7.1%	減少
								【女性】 40.6%	18.3%	減少
	器循環						認知症サポーター数	中間評価にて把握	4,644人	増加
	【三次予防】						介護保険認定疾患の運動器疾患の割合	30.0%	26.5%	減少
							気分障害(躁うつ病を含む)の有病率	中間評価にて把握	5.6%	減少
							介護保険認定疾患の認知症の割合	23.7%	28.3%	維持
							糖尿病性腎症による透析者の割合 (全透析者中の糖尿病が原因の透析者数)	27.2%	35.0%	減少
Ⅲ 食育推進	食育推進					19歳	食事を楽しいと感じる人の割合	85.4%	80.1%	90%
						74歳	食育に関心がある人の割合の増加	72.8%	70.3%	90%
							食品の安全性に関する基礎的な知識を持っている市民の割合	74.5%	63.2%	90%
Ⅳ 自殺予防の取組	自殺予防の取組					19歳	悩みを抱えた時やストレスを感じた時に、相談することは恥ずかしいことだと思う者の割合	—	18.6%	減少
						74歳	本気で自殺したいと考えたことがある者の割合	—	15.9%	減少
							身近な人から「死にたい」と打ち明けられた時、否定や激励する者の割合	—	17.0%	減少
						75歳以上	悩みを抱えた時やストレスを感じた時に、相談することは恥ずかしいことだと思う者の割合	—	23.8%	減少
							本気で自殺したいと考えたことがある者の割合	—	8.1%	減少
							身近な人から「死にたい」と打ち明けられた時、否定や激励する者の割合	—	32.9%	減少

第3節 今後の推進体制

(1) 庁内の連携体制

庁内関係課全体で構成される「いきいき笠岡21推進プロジェクトチーム」において、健康寿命の延伸に向けた第2期計画の評価及び推進を行います。

専門的な分野については、庁内関係課により構成される次の4部会で連携をとり、関係分野の進行管理を行います。

また、地域包括ケア推進室と連携し、市民の生活を包括的に支える体制づくりに努めます。

部会名	庁内関係課
はぐくみ部会	子育て支援課，学校教育課，健康推進課
食育部会	子育て支援課，こども育成課，農政水産課，学校教育課，生涯学習課，学校給食センター，健康推進課
身体活動・運動部会	子育て支援課，長寿支援課，学校教育課，生涯学習課，スポーツ推進課，健康推進課
自殺予防連絡会	子育て支援課，地域包括ケア推進室，地域福祉課，健康推進課

(2) 市民団体との連携体制

いきいき笠岡21評価推進委員会と協働しながら、市民が健康づくりを実践するための地域づくりに取り組んでいます。

○いきいき笠岡21評価推進委員会の構成

笠岡市愛育委員協議会	笠岡市栄養改善協議会	笠岡市ヘルスアップ推進会
血液さらさら会	転倒予防クラブ	六表会

◎計画体系図

